

議案第 1 号

明石市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める
条例制定のこと

明石市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を次のように制定する。

令和 8 年 2 月 1 9 日提出

明石市長 丸 谷 聡 子

明石市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

(趣旨)

第1条 この条例は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第54条の3において準用する法第46条第2項の規定に基づき、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例における用語の意義は、法及び特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準（令和7年内閣府令第95号）において使用する用語の例による。

(一般原則)

第3条 特定乳児等通園支援事業者は、良質かつ適切であり、かつ、子どもの保護者の経済的負担の軽減について適切に配慮された内容及び水準の特定乳児等通園支援の提供を行うことにより、全ての子どもに、安全に、かつ、安心して過ごし、健やかに成長するために適切な環境が等しく確保されるよう努めなければならない。

2 特定乳児等通園支援事業者は、その提供する特定乳児等通園支援を利用する支給対象小学校就学前子どもの意思及び人格を尊重して、常に当該支給対象小学校就学前子どもの立場に立って特定乳児等通園支援を提供するように努めなければならない。

3 特定乳児等通園支援事業者は、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、地方公共団体、特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、他の特定乳児等通園支援事業者、地域子ども・子育て支援事業を行う者、児童福祉施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めなければならない。

4 特定乳児等通園支援事業者は、その提供する特定乳児等通園支援を利用する支給対象小学校就学前子どもの人権の擁護、虐待の防止等のため、責任者を設置する等必要な体制の整備を行うとともに、特定乳児等通園支援事業所の職員に対する研修の実施、職場環境の向上を図る等の措置を講ずるよう努めなければならない。

(暴力団員等の排除)

第4条 特定乳児等通園支援事業者は、特定乳児等通園支援事業所の運営に当たっては、明石市暴力団排除条例（平成24年条例第2号）第2条第1号に規定する暴力団若しくは同条第2号に規定する暴力団員の支配を受け、又はこれらと密接

な関係を有してはならない。

(利用定員)

第5条 特定乳児等通園支援事業所の利用定員については、規則で定める。

(運営基準)

第6条 特定乳児等通園支援事業者は、特定乳児等通園支援を提供した際は、規則で定めるところにより、乳児等支援給付認定保護者からその特定乳児等通園支援の提供に要する費用の支払を受けるものとする。

2 特定乳児等通園支援事業所においては、乳児等支援給付認定子どもの国籍、信条、社会的身分、性別若しくは身体的特徴又は前項の規定による支払の状況によって、差別的取扱いをしてはならない。

3 特定乳児等通園支援事業者は、特定乳児等通園支援事業の運営に当たっては、前2項に定めるほか、次に掲げる事項について規則で定める基準に従わなければならない。

- (1) 保護者との面談、重要事項の説明及び同意の取得
- (2) 利用申込みに対する提供義務
- (3) 市が行うあっせん及び要請に対する協力
- (4) 乳児等支援支給認定証に記載された事項の確認
- (5) 乳児等支援給付認定の申請に係る援助
- (6) 乳児等支援給付認定子ども及びその保護者の心身の状況等の把握
- (7) 特定教育・保育施設等との連携
- (8) 特定乳児等通園支援の提供の記録
- (9) 乳児等支援給付費の額に係る通知等
- (10) 特定乳児等通園支援の取扱方針
- (11) 特定乳児等通園支援に関する評価及び改善
- (12) 乳児等支援給付認定子ども及びその保護者との相談及び援助
- (13) 緊急時等の対応
- (14) 乳児等支援給付認定保護者に関する市への通知
- (15) 運営規程の制定
- (16) 職員の勤務体制の確保等
- (17) 利用定員の遵守
- (18) 重要事項の掲示等
- (19) 虐待等の防止のために必要な措置の実施
- (20) 秘密保持のために必要な措置の実施

- (2 1) 特定乳児等通園支援の内容に関する情報の提供等
- (2 2) 利用者支援事業者等との間における財産上の利益の供与及び収受の禁止
- (2 3) 苦情への対応
- (2 4) 地域との連携等
- (2 5) 事故発生の防止及び発生時の対応
- (2 6) 会計の区分
- (2 7) 記録の整備等
- (2 8) その他適切な特定乳児等通園支援事業の運営に関して必要な事項
(虐待等の禁止)

第 7 条 特定乳児等通園支援事業所の職員は、乳児等支援給付認定子どもに対し、児童福祉法（昭和 2 2 年法律第 1 6 4 号）第 3 3 条の 1 0 第 1 項各号に掲げる行為その他当該乳児等支援給付認定子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。

(秘密保持)

第 8 条 特定乳児等通園支援事業所の職員及び管理者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た乳児等支援給付認定子ども又はその家族の秘密を漏らしてはならない。

附 則

この条例は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

(提案理由)

本案は、子ども・子育て支援法の一部改正により市が定めることとされた特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めることにつき、新たに条例を制定しようとするものである。